



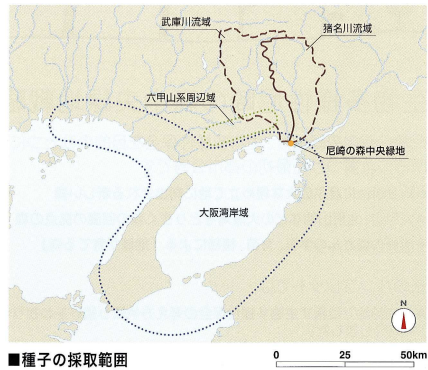
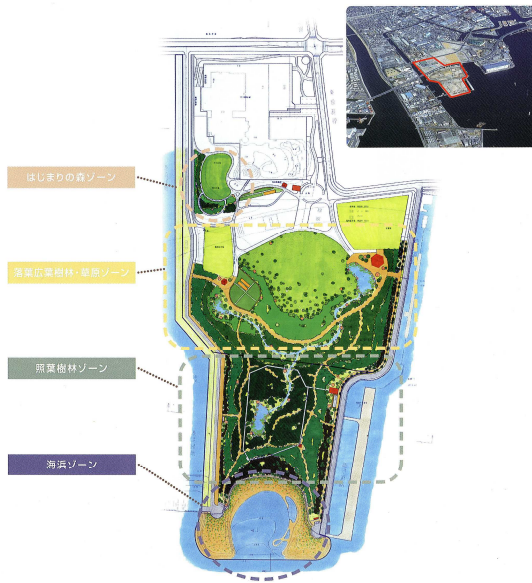
## 個票 14 地域種を活用した緑地の創出

〔森 2(2)①10-2 森 3(1)①2-2 森 4(1)①2-1〕

(2011年作成)

配慮の視点	種の多様性への配慮	配慮項目	野生生物の生息・生育環境の保全・創出
	遺伝子の多様性への配慮		遺伝子攪乱要因の排除・抑制
	外来生物への対策		侵略的外来生物の排除・抑制
配慮事項	多様な緑地などの保全・創出		
	他の地域から動植物を持ち込まない・持ち出さない		
	侵略的外来生物の侵入・拡散防止		
配慮事例	管理による多様な生息・生育環境の維持・創出		
	緑化での郷土種の植栽		
内容	<p><b>●地域種を活用した緑地の創出</b></p> <p><b>【解説】</b></p> <p>新たに緑地を作るために植栽をする場合、できるだけ地域に生育する植物を使うことが望まれます。この場合、近隣の野山から種子を採取し、苗を育てて植栽する方法もあります。この方法はたいへん手間と時間のかかる方法ですが、地域の人たちの協力で地域の緑地を育てていくという意義のうえでは、とても重要なことです。</p> <p><b>【具体的な工法・配慮事項】</b></p> <p><b>●目標とする緑地の姿の設定</b></p> <p>周辺地域に成立する、またはかつて成立していた植物群落を参考に、その立地環境に適応した植物群落の創出を目指します。</p> <p><b>●種子の調達と苗の育成</b></p> <p>①目標とする植物群落をお手本として、その主要な樹木や草本の種子を集めます。生物の多様性という面からは、できるだけ多くの種類を採用することが望まれます。</p> <p>②種子の採取範囲は、近隣の野山や河川敷に限定します。</p> <p>③苗木は現地の環境に馴染ませながら、時間をかけて大きく育ててゆきます。</p> <p><b>●根株移植</b></p> <p>①「種子の採取範囲」にある森が道路工事などにより伐採されるようなことがあれば、その根株を移植する方法もあります。</p>		
			
			

## 【事例】



### 【場所】

兵庫県尼崎市 尼崎の森中央緑地

### 【環境配慮の内容と方法、工法】

- ・ 植栽計画では、周辺地域に分布する良好な植生をモデルとして、目標植生の配置や導入種、植栽の方法を定めた。
- ・ 森づくりにあたっては、地元産の種子を用いて苗木を育て、植栽するところから始めている。

出典：1、2

### 参考資料

- 1 「みんなでつくる尼崎の森－尼崎の森中央緑地植栽計画－」 兵庫県阪神南  
県民局県土整備部西宮土木事務所ほか
- 2 「生物多様性尼崎の森中央緑地戦略」 兵庫県阪神南県民局尼崎港管理事務所